

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月11日

協議会名: 長野県公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
長電バス株式会社	山田温泉線 ※公有民営方式車両購入費 国庫補助金を受けている	路線再編を実施するため、関係機関と断続的に協議を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:28.8 に対して 実績輸送量26.5であった。	H30.10に実施した路線再編の影響を見極めていく。
長電バス株式会社	上林線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	路線変更の周知を図るため、時刻表の全戸配布を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:29.2 に対して 実績輸送量24.0であった。	H30.4に電車の時刻改正に合わせて、時刻改正を実施した。今後も、利用状況を見ながら、利便向上を図る。
長電バス株式会社	永田線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	電車との接続改善を図るため、時刻改正を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:22.9 に対して 実績輸送量22.2であった。	利用者の減少が微減で留まっていることから、増加に転じるよう広報等を通じPRに努める。
長電バス株式会社	屋島線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	高齢者に対するバスの乗り方説明会を実施し、今まで利用したことのない方へのPRを行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:22.4 に対して 実績輸送量21.2であった。	免許返納制度が定着してきていることから、高齢者に対し、バスの乗り方説明会実施し、利用促進を図る。

長電バス株式会社	牟礼線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	高齢者への運賃低減サービスを両自治体共通のものとし、より利用しやすいものとなるよう協議を進めた。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:30.8 に対して 実績輸送量28.1であった。	通勤・通学・通院に利用しやすい運行となるよう、ダイヤの見直しを図っていく。
長電バス株式会社	野沢線	通勤通学旅客の利便向上を図るため、時刻改正を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:37.1 に対して 実績輸送量34.9であった。	信越9市町村と連携し、広域的な観点から利用客の拡大を検討する。
長電バス株式会社	中野木島線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	通勤通学旅客の利便向上を図るため、時刻改正を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:18.0 に対して 実績輸送量18.0であった。	信越9市町村と連携し、広域的な観点から利用客の拡大を検討する。
長電バス株式会社	屋代須坂線(須坂駅～屋代駅)	高齢者に対するバスの乗り方説明会を実施し、今まで利用したことのない方へのPRを行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:23.2 に対して 実績輸送量19.2であった。	免許返納制度が定着してきていることから、高齢者に対し、バスの乗り方説明会実施し、利用促進を図る。また、小学生に対しても引き続き乗り方教室を実施する
長電バス株式会社	屋代須坂線(須坂駅～松代駅)	高齢者に対するバスの乗り方説明会を実施し、今まで利用したことのない方へのPRを行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:22.4 に対して 実績輸送量27.2であった。	免許返納制度が定着してきていることから、高齢者に対し、バスの乗り方説明会実施し、利用促進を図る。また、小学生に対しても引き続き乗り方教室を実施する

アルピコ交通株式会社	高府線(善光寺大門～高府)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量37.2 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量35.1であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	高府線(善光寺大門～初引)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量13.3 に対して、実績輸送量13.5であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	鬼無里線 ※ノンステップバス車両購入	学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。市営バスとの乗継停留所を変更するとともに、バリア解消を目的としてノンステップバスを1台導入した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量43.8 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量38.7であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	県道戸隠線	学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量39.7 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量38.0であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	新町大原橋線(善光寺大門～新町)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量30.1 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量29.0であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。

アルピコ交通株式会社	新町大原橋線(善光寺大門～大原橋・犀峽高校)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量29.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量28.2であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	山形線	協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図っている。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量30.2 に対して、実績輸送量31.6であった。	山形村及び松本市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古の低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	四賀線 ※ノンステップバス車両購入	協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図るとともに、バリア解消を目的としてノンステップバスを1台導入した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量31.8 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量28.9であった。	松本市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古の低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通株式会社	本線 岡谷～茅野線	従来より、本線にはノンステップ、ワンステップバスを導入して好評を頂いている。又低公害のハイブリッドバスを導入するなど環境に優しい車両で運行し好評を得ている。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量37.8 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量36.6であった。	利用旅客の減少が続く中、ダイヤ、運行系統の見直し等を行い、今後も旅客のニーズにあった運行を目指し利用促進を図っていく。

千曲バス株式会社	佐久上田線	土日祝日の運休を引き続き実施して経費削減を図った。また、上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:15.0 に対して 実績輸送量17.0であった	沿線自治体からの支援をいただきながら、引き続き土日祝日の運休を実施し経費削減を図る。また、運賃低減バスが継続されたため、今後もバス存続に向けて地域への働きかけを実施する。
千曲バス株式会社	中仙道線	コミュニティバスとの接続を引き続き実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:40.0 に対して 実績輸送量45.5であった	佐久市内循環バスとの連携を引き続き行い、利用しやすい交通体系の構築を図る。
千曲バス株式会社	鹿教湯線(鹿教湯車庫～下秋和)	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:50.0 に対して 実績輸送量49.5であった	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。
千曲バス株式会社	鹿教湯線(丸子～下秋和)	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:60.0 に対して 実績輸送量59.0であった	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。
千曲バス株式会社	青木線	青木村・上田市と連携した運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:70.0 に対して 実績輸送量72.8であった	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。また、貨客混載バスを有効活用し、生産性を向上させる。

上田バス株式会社	真田線	夏休みキッズバスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画に位置された事業は適切に実施されている。	A	目標輸送量19.4人に対して輸送量は20.6人であった。	NHK大河ドラマの影響による客足の伸びを活かす。今後もバス乗り方教室の開催やチラシの発行による利用啓発を促す。地区行事の際の利用を促す。
上田バス株式会社	菅平高原線	夏休みキッズバスの配布。沿線近隣の小中学生を対象としたバスの乗り方教室の実施、将来の利用者掘り起し。複数回乗車のお客様に高原野菜プレゼント企画実施。	A	計画に位置された事業は適切に実施されている。	B	目標輸送量43.6人に対して輸送量は39.2人であった。	スキー客減少による冬期の減収への対策を検討する。菅平観光協会と協力し、今後も野菜のプレゼント等の企画を実施していく。菅平高原へのアクセスをPRする。
上田バス株式会社	真田自治センター入口線	夏休みキッズバスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画に位置された事業は適切に実施されている。	A	目標輸送量32.7人に対して輸送量は33.6人であった。	上田市と協力し、引き続きNHK大河ドラマの観光客取り込みを目指す。観光利用客に向け路線案内の充実を図る。運行時刻の広報を行う。
信南交通株式会社	駒場線(中村経由) 飯田駅前～中村～曾山入口	阿智高校生とワークショップを開催し利用促進について意見交換を実施	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	輸送量26.2人以上の目標に対し28.8人となり目標を達成した	高校生の利便性を確保するよう引続き学校行事にあわせ臨時便・続行便の運行を行ってゆく
信南交通株式会社	駒場線(市立病院経由) 飯田駅前～市立病院～曾山入口	朝の通勤・通学便の快適性を確保するよう続行便を運行	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	輸送量42.9人以上の目標に対し54.7人となり目標を達成した	PTA連合会からの要望により2019年4月より増便予定